

橋 りょう長 寿 命 化 計 画

鹿児島県 錦江町
平成 23 年 12 月
(令和 7 年 3 月更新)

目 次

1. 道路施設の現状と課題

(1) 道路施設の現状と課題

2. 道路施設のメンテナンスサイクルの基本的な考え方

(1) 道路施設のメンテナンスサイクルの基本的な考え方

3. 具体的な補修事例

(1) 具体的な補修事例

4. 今後の点検・修繕計画

(1) 点検計画期間

(2) 対策の優先順位の考え方

(3) 施設の状況・対策内容・実施時期・対策費用

(4) 新技術等の活用方針

(5) 費用の縮減に関する具体的な方針

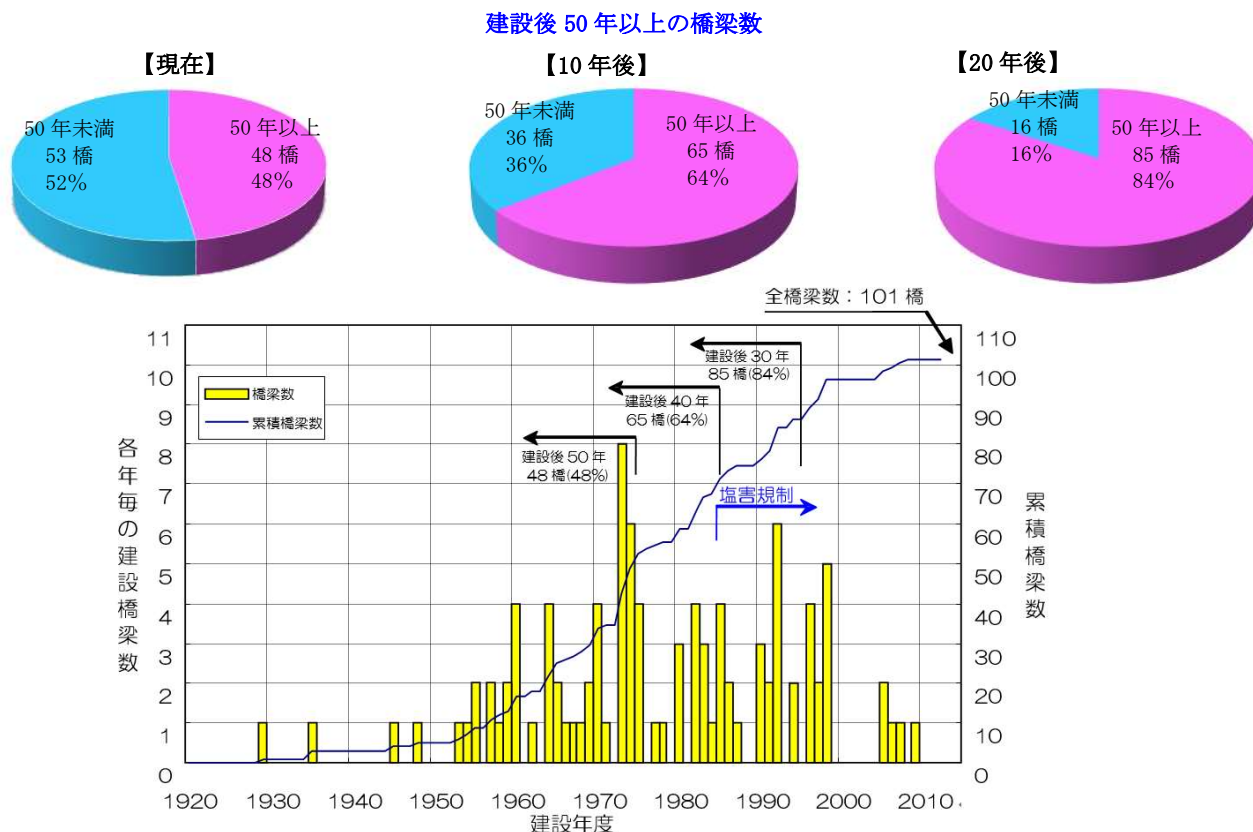
1.道路施設の現状と課題

1)道路施設の現状と課題

錦江町が管理する供用中の町道における橋梁は、令和7年3月31日現在で101橋あります。

このうち建設後50年を経過する高齢化橋梁は、48橋あり、全体の48%を占めており、10年後にはこの割合が64%、20年後には84%となり、高齢化が急速に進んでいく状況となっています。

さらに、コンクリート片剥落などによる第三者被害などの事象も想定されるため、定期点検による確実な状況把握(早期発見)、点検結果に基づく確実な対策(早期補修)が必要となっています。



2.道路施設のメンテナンスサイクルの基本的な考え方

1)道路施設のメンテナンスサイクルの基本的な考え方

インフラは、利用状況、設置された自然環境等に応じ、劣化や損傷の進行は施設毎に異なり、その状態は時々刻々と変化します。現状では、これらの変化を正確に捉え、インフラの寿命を精緻に評価することは技術的に困難であるという共通認識に立ち、インフラを構成する各施設の特性を考慮した上で、定期的な点検・診断により施設の状態を正確に把握することが重要です。

このため、橋梁の点検については、定期点検要領に基づき、5年に1度、近接目視による点検を実施し、結果については、4段階で区分することとしています。

区 分		状 態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

錦江町が管理する橋梁101橋を、令和3年度及び令和4年度に点検を行った結果、57% (58橋) が“Ⅰ(健全)”、41% (41橋) が“Ⅱ(予防保全段階)”、2% (2橋) が“Ⅲ(早期措置段階)”、Ⅳ(緊急措置段階)は0% (0橋) と判定されました。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい、或いは早期に措置を講ずるべき橋梁が約半数を占めています。

3. 具体的な補修事例

1) 具体的な補修事例

定期的な点検により、早期に損傷を発見し、損傷が深刻化する前に対策を実施しています。

☆町道木登線 神之川虹のつりはし大滝橋 令和2年度補修



補修前



補修状況（高欄設置工）



補修後

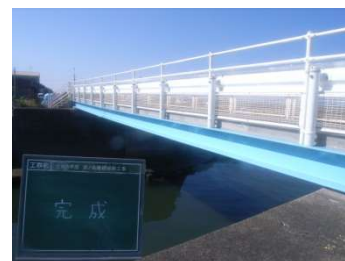
☆町道神之浜海岸線 堂ノ元港橋 令和3年度補修



補修前



補修状況（塗装工）



補修後

4. 今後の点検・修繕計画

1) 点検計画期間

5年に1回の定期点検サイクルを踏まえ、点検間隔が明らかとなるよう計画期間は10年とします。
なお、点検結果等を踏まえ、毎年度、計画を更新します。

2) 対策の優先順位の考え方

点検結果に基づき、効率的な維持及び修繕が図られるよう必要な対策を講じます。

優先順位の考え方

橋梁の対策は、第三者に対する安全性に著しく影響を及ぼし、緊急的に対応が必要な損傷がある橋梁を優先的に実施します。

予防保全の観点から補修を行うことが望ましい区分「Ⅱ」、早期に補修を行うべき区分「Ⅲ」と判定した橋梁については、損傷箇所数や損傷程度を考慮し、優先的に対策を実施します。

3) 施設の状況・対策内容・実施時期・対策費用

令和3年度及び令和4年度に行った、錦江町が管理する全橋梁の定期点検の結果、判定区分「Ⅰ」58橋、「Ⅱ」41橋、「Ⅲ」2橋、「Ⅳ」0橋となっています。

橋梁において、点検計画・修繕計画のとおり点検・修繕を予定していますが、点検結果や予算措置状況等に応じて見直すことがあります。修繕計画については、優先順位に基づき対策を実施する予定であるため、Ⅱ・Ⅲ判定の橋梁から優先的に実施していきます。

*** 橋梁点検計画・修繕計画一覧表については、別紙のとおりとする。**

4) 新技術等の活用方針

橋梁の定期点検や修繕等の実施に当たっては、費用の縮減や事業の効率化などを図るための比較検討において必ず、新技術情報提供システム(NETIS)に登録された有用な新技術等の活用の検討を行います。

また、令和10年度までに、現時点では4橋の修繕において新技術等の活用を計画しており、今後も更なる活用を目指します。

5) 費用の縮減に関する具体的な方針

橋梁については、本計画に基づいて、劣化が顕著に表れる前に修繕を実施し、ライフサイクルコストの縮減に取り組むとともに、新技術等を活用することで、修繕等に要する費用の縮減に取り組めます。なお、「4) 新技術等の活用方針」に記載している新技術等の活用により、令和10年度までに4橋の補修工事で約230万円の費用の縮減を目指します。

また、施設の集約・撤去については、現段階においては、対象となる施設がないことから困難であるが、将来的には利用状況等を勘案し、廃止も含めた検討を行います。

橋梁点検計画・修繕計画

＜判定区分＞ 平成26年度以降Ⅰ：健全Ⅱ：予防保全段階Ⅲ：早期措置段階Ⅳ：緊急措置段階

＜点検・修繕等計画＞点検計画：○修繕計画：●撤去：▲

令和7年3月末時点

No	施設名		路線名	架設年度	架設後 経過年数	橋長 (m)	幅員 (m)	橋梁の種類	令和4年度までの実績						令和5年度以降の予定							
									点検結果(1巡目)		点検結果(2巡目)		修繕等実施状況		点検・修繕等計画						主な措置内容	
	橋梁名	(フリガナ)							年度	判定区分	年度	判定区分	年度	内容	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0		
1	皆倉橋	(カイクラハシ)	(他)皆倉線	1935	87	12.0	5.8	その他	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ					○					
2	第1岩元橋	(ダ'イ1イモトハシ)	(2)岩元線	1958	64	5.7	4.8	RC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ					○					
3	第2岩元橋	(ダ'イ2イモトハシ)	(2)岩元線	1959	63	5.6	5.7	RC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ					○					
4	第3岩元橋	(ダ'イ3イモトハシ)	(2)岩元線	1960	62	4.6	5.5	RC	H28	I	R3	I					○					
5	第4岩元橋	(ダ'イ4イモトハシ)	(2)岩元線	1960	62	8.0	5.4	RC	H28	Ⅲ	R3	I	R2	ひびわれ注入工・断面修復工等				○			ひびわれ注入工・断面修復工等	
6	第5岩元橋	(ダ'イ5イモトハシ)	(2)岩元線	1960	62	7.3	5.3	RC	H28	I	R3	I					○					
7	河内橋	(カワチハシ)	(他)神川大滝線	1975	47	3.0	4.5	RC	H28	I	R3	I					○					
8	石原橋	(イシハラハシ)	(他)遊喜村線	1957	65	3.4	4.8	RC	H28	I	R3	I					○					
9	天神橋	(テンジンハシ)	(他)瀬戸山線	1960	62	3.2	1.1	RC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ					○					
10	弓場下橋	(コハシタハシ)	(他)弓場下線	1992	30	15.6	12.8	PC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ					○	●	●		ひびわれ注入工・断面修復工等	
11	第2鳥井戸橋	(ダ'イ2トリド'ハシ)	(他)第2鳥井戸線	1973	49	9.6	4.3	鋼	H29	I	R4	I	H27	塗装塗替工・断面修復工等					○		塗装塗替工・断面修復工等	
12	鳥井戸橋	(トリド'ハシ)	(他)鳥井戸線	1973	49	11.3	4.3	PC	H29	Ⅱ	R4	Ⅱ						○				
13	木場下橋	(コハシタハシ)	(他)せり市場線	1974	48	9.6	5.9	PC	H29	I	R4	I						○				
14	大橋橋	(オオハシハシ)	(1)大橋線	1974	48	10.6	6.7	PC	H28	I	R3	I					○					
15	木原橋	(キハラハシ)	(他)木場大橋線	1974	48	10.3	4.1	PC	H29	Ⅱ	R4	Ⅱ						○				
16	鈴石橋	(スズイシハシ)	(1)中鳥井線	1992	30	2.3	17.6	RC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ					○					
17	柴立橋	(シハ'チタハシ)	(2)柴立線	1992	30	2.0	10.4	RC	H29	I	R4	I						○				
18	厚ヶ瀬橋	(アツガ'セハシ)	(1)厚ヶ瀬線	1983	39	37.0	8.2	PC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ					○					
19	第2松坂橋	(ダ'イ2マツサカハシ)	(1)馬場中原線	1974	48	9.5	6.8	鋼	H29	I	R4	I	H29	塗装塗替工・断面修復工等					○		塗装塗替工・断面修復工等	
20	第1松坂橋	(ダ'イ1マツサカハシ)	(1)馬場中原線	1962	60	7.6	4.2	RC	H29	Ⅲ	R4	Ⅲ				●			○		ひびわれ注入工・断面修復工等	
21	城ノ岡橋	(シ'ヨウノオカハシ)	(1)馬場中原線	1973	49	6.8	6.6	RC	H29	I	R4	Ⅱ							○			
22	馬場中原橋	(ハ'ナナカハ'ルハシ)	(1)馬場中原線	1970	52	49.2	4.7	鋼	H29	I	R4	I	H26	塗装塗替工・断面修復工等					○		塗装塗替工・断面修復工等	
23	毛下橋	(ケロシハシ)	(他)毛下線	1929	93	5.4	6.3	その他	H29	Ⅱ	R4	Ⅱ						○				
24	第2毛下橋	(ダ'イ2ケロシハシ)	(他)毛下線	1970	52	6.7	4.2	RC	H29	Ⅱ	R4	I							○			
25	第三足光谷橋	(ダ'イサンアソクダニハシ)	(他)足光谷線	1985	37	13.5	6.2	PC	H29	I	R4	I						○				
26	第二足光谷橋	(ダ'ニアソクダニハシ)	(他)足光谷線	1985	37	7.5	5.6	RC	H29	I	R4	I							○			
27	第一足光谷橋	(ダ'イ'アソクダニハシ)	(他)足光谷線	1985	37	7.0	5.7	RC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ						○				
28	塩屋橋	(シ'オヤハシ)	(他)神之浜海岸線	1982	40	5.3	4.1	RC	H29	Ⅱ	R4	I	H30	表面含浸工・断面修復工等					○		表面含浸工・断面修復工等	
29	第2宮下橋	(ダ'イ2ミヤタハシ)	(他)柴立上之宇都線	1992	30	2.5	24.2	RC	H29	Ⅱ	R4	Ⅱ							○			
30	宮下橋	(ミヤタハシ)	(他)柴立上之宇都線	1992	30	2.9	9	RC	H28	I	R3	I							○			

橋梁点検計画・修繕計画

<判定区分> 平成26年度以降 I：健全 II：予防保全段階 III：早期措置段階 IV：緊急措置段階

<点検・修繕等計画> 点検計画：○ 修繕計画：● 撤去：▲

令和7年3月末時点

No	施設名		路線名	架設年度	架設後 経過年数	橋長 (m)	幅員 (m)	橋梁の種類	令和4年度までの実績						令和5年度以降の予定							
									点検結果(1巡目)		点検結果(2巡目)		修繕等実施状況		点検・修繕等計画						主な措置内容	
	橋梁名	(フリガナ)							年度	判定区分	年度	判定区分	年度	内容	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0		
31	白水大橋	(シロミズ 大橋)	(2) 白水線	1997	25	52.0	7.2	PC	H29	Ⅲ	R4	Ⅱ	R4	ひびわれ注入工・断面修復工等					○			ひびわれ注入工・断面修復工等
32	有村橋	(アリムラバシ)	(他) 長次朗滝線	1982	40	6.5	16	RC	H29	I	R4	I							○			
33	大橋	(大橋)	(他) 山之口塩屋線	1959	63	3.7	16.3	RC	H28	I	R3	I						○				
34	第一塩屋橋	(ダイイチシヤバシ)	(他) 山之口塩屋線	1945	77	3.5	11.6	RC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ						○				
35	第二塩屋橋	(ダイニシヤバシ)	(他) 山之口塩屋線	1948	74	9.2	14.7	RC	H28	Ⅲ	R3	Ⅲ					●	●	○			管渠工等
36	中野橋	(ナカノバシ)	(他) 中野橋線	1952	70	7.3	4.9	RC	H28	Ⅲ	R3	I	R3	断面修復工・舗装打替工等					○			断面修復工・舗装打替工等
37	第二厚ヶ瀬橋	(ダイニツツカセバシ)	(1) 厚ヶ瀬線	1994	28	4.0	16	RC	H28	I	R3	I							○			
38	神之川虹のつりはし大滝橋	(カミノカワニジノツリハシオホタキバシ)	(他) 木登線	1990	32	130.8	2.5	鋼	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ	R2	防護柵取替工・ひびわれ注入工等					○			防護柵取替工・ひびわれ注入工等
39	安井橋	(ヤスイバシ)	(他) 白井線	1953	69	8.1	4.2	RC	H29	I	R4	I								○		
40	堂ノ元港橋	(ドウノモトコウバシ)	(他) 神之浜海岸線	1973	49	20.0	2.4	鋼	H28	Ⅲ	R3	I	R3	塗装塗替工・床版取替工等						○		塗装塗替工・床版取替工等
41	塩屋歩道橋	(シヤバシドウキョウ)	(他) 山之口塩屋線	1982	40	8.1	2	RC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ							○			
42	西大塚橋	(ニシオウツカバシ)	(2) 大谷線	2007	15	14.0	9.7	PC	H28	I	R3	I								○		
43	大谷橋	(オオタニバシ)	(2) 大谷線	2009	13	6.8	10.2	PC	H29	I	R4	I									○	
44	拂川橋	(ハライカワバシ)	(他) 中郡永田線	1978	44	16.8	5.1	PC	H29	Ⅱ	R4	Ⅱ	H30	表面含浸工・ひびわれ注入工等						○		表面含浸工・ひびわれ注入工等
45	池野橋	(イケノバシ)	(他) 池野線	1955	67	4.9	4.2	RC	H29	I	R4	I								○		
46	長谷橋	(ナガタニバシ)	(他) 長谷線	1991	31	11.4	6.2	PC	H29	I	R4	I								○		
47	中村橋	(ナカムラバシ)	(他) 中郡中村線	1970	52	25.0	6.7	鋼	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ							○	●	●	塗装塗替工・断面修復工等
48	山下橋	(ヤマシタバシ)	(2) 山下中村線	1969	53	22.5	6.6	鋼	H28	Ⅲ	R3	I	R1	塗装塗替工・断面修復工等					○			塗装塗替工・断面修復工等
49	表木第2橋	(ヒョウキダイニバシ)	(他) 表木白井草線	1975	47	16.9	4.2	鋼	H28	Ⅲ	R3	I	H29	塗装塗替工・断面修復工等					○			塗装塗替工・断面修復工等
50	小梅枝橋	(コメエバシ)	(他) 岩崎小梅枝線	1975	47	5.3	5.9	RC	H29	I	R4	I								○		
51	椎ノ木橋	(シイノキバシ)	(他) 椎ノ木線	1986	36	15.6	6.2	PC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ							○			
52	山ノ口橋	(ヤマノクチバシ)	(他) 山ノ口八ノ尾線	1988	34	16.3	5.2	PC	H28	I	R3	I								○		
53	表木前橋	(ヒョウキマエバシ)	(他) 中崎山ノ口線	1973	49	7.2	5.4	RC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ								○		
54	平石第1橋	(ヒライシダイ1バシ)	(他) 平石線	1973	49	2.6	4.5	RC	H28	I	R3	I								○		
55	平石第2橋	(ヒライシダイ2バシ)	(他) 平石線	1973	49	2.9	19.1	RC	H28	I	R3	I								○		
56	平石第3橋	(ヒライシダイ3バシ)	(他) 平石線	1980	42	4.3	4.4	RC	H29	I	R4	I									○	
57	平石第4橋	(ヒライシダイ4バシ)	(他) 平石線	1974	48	3.1	7.4	RC	H28	I	R3	I								○		
58	馬渡橋	(マワタリバシ)	(1) 柴立狩倉線	1982	40	60.7	8.2	PC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ							○	●	●	ひびわれ注入工・断面修復工等
59	鶴園橋	(ツルギノバシ)	(1) 柴立狩倉線	1997	25	25.0	8.2	PC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ								○		
60	石跳橋	(イシヒバシ)	(他) 鳥淵原沢線	2006	16	66.2	11.1	PC	H28	I	R3	I									○	

橋梁点検計画・修繕計画

＜判定区分＞ 平成26年度以降Ⅰ：健全Ⅱ：予防保全段階Ⅲ：早期措置段階Ⅳ：緊急措置段階

＜点検・修繕等計画＞点検計画：○修繕計画：●撤去：▲

令和7年3月末時点

No	施設名		路線名	架設年度	架設後経過年数	橋長(m)	幅員(m)	橋梁の種類	令和4年度までの実績						令和5年度以降の予定							
									点検結果(1巡目)		点検結果(2巡目)		修繕等実施状況		点検・修繕等計画						主な措置内容	
	橋梁名	(フリガナ)							年度	判定区分	年度	判定区分	年度	内容	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0		
61	瀬戸口橋	(セトグチバシ)	(1) 早瀬瀬戸口線	1964	58	19.0	6.2	RC	H29	Ⅱ	R4	Ⅰ	R1	ひびわれ注入工・断面修復工等					○			ひびわれ注入工・断面修復工等
62	雄川橋	(オスガハシ)	(1) 柴立狩倉線	1998	24	25.1	11	PC	H29	Ⅱ	R4	Ⅱ							○			
63	第2久木野橋	(ダニ2キノバシ)	(他) 久木野2号線	1988	34	21.6	6.2	PC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ						○				ひびわれ注入工・断面修復工等
64	川前橋	(カワマエバシ)	(1) 池野新田線	1998	24	2.9	10.9	RC	H28	Ⅰ	R3	Ⅰ						○				
65	久木野橋	(キノバシ)	(他) 鵜戸野久木野線	1967	55	17.4	4.6	RC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ				●			○			高欄取替工・断面修復工等
66	大原橋	(オハラバシ)	(1) 池野新田線	1975	47	2.9	12.4	RC	H28	Ⅰ	R3	Ⅰ							○			
67	第3久木野橋	(ダニ3キノバシ)	(他) 鵜戸野久木野線	1966	56	3.5	5.5	RC	H28	Ⅰ	R3	Ⅰ							○			
68	金山橋	(カネヤマバシ)	(他) 鵜戸野金山線	1968	54	10.4	3.6	銅	H29	Ⅰ	R4	Ⅱ	H29	塗装塗替工・断面修復工等						○		塗装塗替工・断面修復工等
69	第1南風谷橋	(ダニ1ナンフタニバシ)	(他) 鵜戸野新田線	1964	58	23.9	6	RC	H29	Ⅰ	R4	Ⅰ	H28	断面修復工・伸縮装置取替工等						○		断面修復工・伸縮装置取替工等
70	紅葉橋	(モミジバシ)	(他) 立神線	1992	30	15.7	6.2	PC	H29	Ⅰ	R4	Ⅰ							○			
71	高田山橋	(タカダヤマバシ)	(他) 大原新田線	1973	49	7.0	5.2	RC	H29	Ⅰ	R4	Ⅰ	H27	ひびわれ注入工・断面修復工等						○		ひびわれ注入工・断面修復工等
72	内ノ牧第1橋	(ウチノマキダニ1バシ)	(他) 内ノ牧南風谷線	1974	48	3.5	5.1	RC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ							○			
73	内ノ牧第2橋	(ウチノマキダニ2バシ)	(他) 内ノ牧南風谷線	1964	58	12.0	4.1	RC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ							○			
74	井手駄床橋	(イデダトコバシ)	(他) 平山線	1969	53	8.6	4.6	RC	H29	Ⅱ	R4	Ⅱ								○		
75	立神橋	(タテガミバシ)	(他) 大浦地富田線	1965	57	17.0	6.2	RC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ							○	●	●	断面修復工・伸縮装置取替工等
76	富田橋	(トミタバシ)	(他) 大浦地富田線	1980	42	6.7	5.8	PC	H29	Ⅰ	R4	Ⅰ							○			
77	東ノ原橋	(ヒガシノハラバシ)	(他) 溝下線	1977	45	14.8	3.7	銅	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ				●	●		○			
78	宮前橋	(ミヤマエバシ)	(他) 橋ノ口中村線	1970	52	25.0	2.6	銅	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ	H29	塗装塗替工・断面修復工等					○			塗装塗替工・断面修復工等
79	天神橋	(テンジンバシ)	(他) 表木天神線	1986	36	17.4	5.2	PC	H29	Ⅰ	R4	Ⅰ								○		
80	花瀬橋	(ハナセバシ)	(他) 池野瀬戸口線	1954	68	48.0	4.6	RC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ							○			ひびわれ注入工・断面修復工等
81	山宮橋	(ヤマミヤバシ)	(他) 山宮山ノ口線	1987	35	17.5	6.2	PC	H29	Ⅰ	R4	Ⅰ								○		
82	第一鵜戸野橋	(ダニイチノダニバシ)	(他) 鵜戸野新田線	1983	39	7.4	6	PC	H29	Ⅰ	R4	Ⅰ								○		
83	第二鵜戸野橋	(ダニニノダニバシ)	(他) 鵜戸野新田線	1983	39	14.7	6	PC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ							○			ひびわれ注入工・断面修復工等
84	中尾橋	(ナカオバシ)	(他) 中尾1号線	1991	31	4.6	4.7	RC	H29	Ⅰ	R4	Ⅰ								○		
85	鵜戸野橋	(ウドノバシ)	(他) 鵜戸野壺山線	1984	38	40.6	6.2	PC	H29	Ⅱ	R4	Ⅱ								○		
86	壺山第一橋	(ハシサンダニイチバシ)	(他) 鵜戸野壺山線	1996	26	8.0	6.2	PC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ							○			
87	壺山第二橋	(ハシサンダニニバシ)	(他) 鵜戸野壺山線	1996	26	7.0	6.2	PC	H28	Ⅲ	R3	Ⅰ	R1	ひびわれ注入工・断面修復工等					○			ひびわれ注入工・断面修復工等
88	第三鵜戸野橋	(ダニサンウドノバシ)	(他) 鵜戸野壺山線	1980	42	2.2	7.6	RC	H29	Ⅰ	R4	Ⅰ								○		
89	木ノ口橋	(キノクチバシ)	(他) 木ノ口花瀬線	1990	32	9.0	5.7	RC	H29	Ⅰ	R4	Ⅰ								○		
90	新田橋	(シンテンバシ)	(他) 山ノ口新田線	1964	58	9.5	6.3	RC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ								○		

橋梁点検計画・修繕計画

<判定区分> 平成26年度以降 I：健全 II：予防保全段階 III：早期措置段階 IV：緊急措置段階

<点検・修繕等計画> 点検計画：○ 修繕計画：● 撤去：▲

令和7年3月末時点

No	施設名		路線名	架設年度	架設後 経過年数	橋長 (m)	幅員 (m)	橋梁の種類	令和4年度までの実績						令和5年度以降の予定							
									点検結果(1巡目)		点検結果(2巡目)		修繕等実施状況		点検・修繕等計画						主な措置内容	
	橋梁名	(フリガナ)							年度	判定区分	年度	判定区分	年度	内容	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0		
91	内ノ牧橋	(ウチノマキハシ)	(他)内ノ牧夫婦須田線	1957	65	30.0	6.1	PC	H28	Ⅲ	R3	I	H30	支承取替工・伸縮装置取替工等				○			支承取替工・伸縮装置取替工等	
92	川床橋	(カワトコハシ)	(1)池野新田線	1998	24	3.4	11.5	RC	H29	I	R4	I						○				
93	南新田橋	(ミナシシデンハシ)	(1)池野新田線	2005	17	17.0	11	PC	H28	I	R3	I					○					
94	長野橋	(ナガノハシ)	(他)八ノ尾長野線	1985	37	13.5	6	PC	H29	I	R4	I						○				
95	大藤橋	(オオフジハシ)	(1)早瀬瀬戸口線	2005	17	21.9	11	PC	H28	Ⅱ	R3	Ⅱ					○				断面修復工・伸縮装置取替工等	
96	第2山下橋	(ダイニヤマシタハシ)	(他)山下1号線	1998	24	5.5	8.2	RC	H29	I	R4	I						○				
97	内之牧第3橋	(ウチノマキダイサンハシ)	(他)内之牧1号線	1998	24	2.9	5.5	RC	H29	I	R4	I						○				
98	第1山下橋	(ダイイチヤマシタハシ)	(2)山下中村線	1998	24	4.3	7.2	RC	H29	I	R4	I						○				
99	南風谷橋	(ナエタニハシ)	(他)新田重岳線	1990	32	29.0	6.5	PC	H29	Ⅱ	R4	Ⅱ						○				
100	田之神橋	(タノカミハシ)	(他)田之神線	1994	28	12.0	6.2	PC	H29	Ⅱ	R4	Ⅱ						○				
101	第一厚ヶ瀬橋	(ダイイチツツカセハシ)	(1)厚ヶ瀬線	1994	28	2.5	26.6	RC			R3	I						○				